

# Adobe Creative Cloud Libraries : アセットや設定の 共有が生産性に及ぼす影響

## この調査について

このレポートは、Pfeiffer Consulting がアドビの委託に基づいて実施した市場別ベンチマークプロジェクトの調査結果を報告するものです。調査の主な目的は、サーバーに保存されている共有テンプレートドキュメントや企業のスタイルガイドの使用に依存する典型的なワークフローと比較しながら、Adobe CC Libraries に関連する効率性および生産性の向上について検証することにあります。また、この調査では、特に要素の共有や更新を頻繁に行うワークグループにおいて、いかに小さな生産性の向上の積み重ねが大きな成果につながるかについても分析しました。

ベンチマークには、過去 10 年以上にわたり精度を高めてきた Pfeiffer Consulting の生産性ベンチマーク調査手法を使用し、各作業に精通した担当者による作業時間を測定しました。詳しくは、この文書の末尾にある「調査手法」をご覧ください。

## CC Libraries について

CC Libraries は、アドビのデザイン、Web、およびビデオ関連のデスクトップアプリケーションで利用できる Adobe Creative Cloud の機能です。CC Libraries を使用すると、アセット、カラースウォッチ、スタイルシート、ブラシ、その他のグラフィックや設定を複数のアプリケーションやコンピューター間、ワークグループのメンバー間で共有し、自動的に更新することができます。保存されている場所を見つけてテンプレートドキュメントや設定にアクセスするという面倒な手順の代わりに共有ライブラリを使用すれば、当然のことながら生産性は向上します。しかし、この調査のベンチマークが示す生産性の向上は、当初の予想をはるかに上回るものです。

## 主なベンチマークの結果：6 つのワークフローに関するベンチマークの平均

CC Libraries を使用した場合 (13.24%)

CC Libraries を使用しなかった場合  
(100%)

ソリューションごとの 6 つの完全なワークフローシナリオの平均を表すグラフ。  
合計 132 件のベンチマーク測定を実施。  
基準値：サーバー上で共有ファイル进行操作する場合の平均時間。短いほど良い。

## 概要

- ▶ Creative Cloud Libraries を使用すると、様々なアプリケーションやコンピューター間、チームメンバー間で、設定、スタイル、アセットを非常に効率的に共有し更新できます。
- ▶ 今回のプロジェクトのベンチマークでは、[CC Libraries](#) の使用によって大幅に生産性が向上することが示され、6 つのワークフローについて実施したベンチマークテストで、平均 **10 倍近い**生産性の向上が見られました(下図参照)。
- ▶ 個々の作業における小さな生産性の向上が積み重なれば大きな成果につながり、1 週間で何時間もグループの作業時間を節減できることとなります。
- ▶ カラー設定、グラフィック一式、画像アセット 1 点の共有および更新 1 回の作業を行うのに、通常のワークフローの手順では **20 分**近くかかったのに対し、**CC Libraries** を使用すると **3 分**余りでした。

# CC Libraries の使用により デザイン作業を効率化

## CC Libraries がスタイルの整合性確保に果たす役割とは

### 今までにないライブラリ

頻繁に使用される情報や設定をライブラリで保存することは、コンピュータグラフィックスと同じくらい昔から行われており、多くのクリエイティブアプリケーションには何らかのライブラリ機能が備わっています。

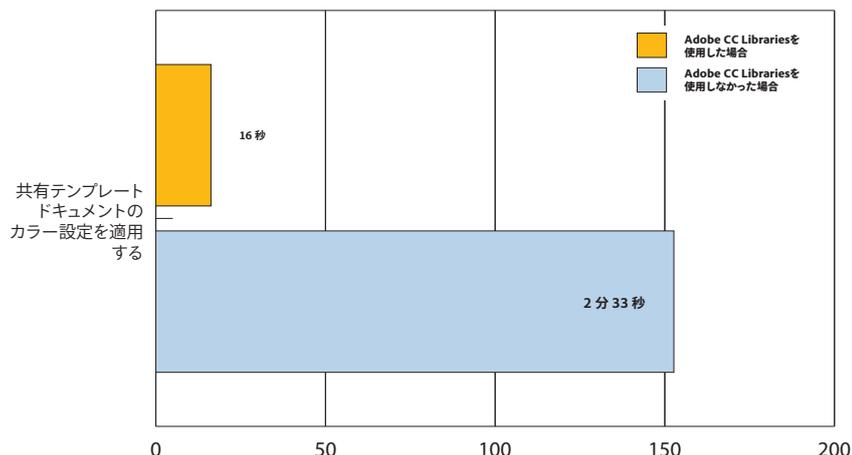
しかし、アドビの CC Libraries には、他にはない2つの特徴があります。まず、**Creative Cloud の主要デスクトップアプリケーションとモバイルアプリのほとんどで利用できる**こと。これには Photoshop、Illustrator、InDesign、Dreamweaver、Premiere Pro、After Effects などが含まれます。そして、複数のコンピューター間や（生産性の向上に関して興味深いことに）ワークグループ間で**簡単に共有**できることです。ワークグループのメンバーが世界中に分散していても関係ありません。

### ボトルネックは何か？

クリエイティブチームの編成には難題があります。メディア環境が複雑化した今日、事実上あらゆるクリエイティブプロジェクトで、**多種多様なアプリケーションプログラムやファイル形式、アセット、カラーやフォント、その他の設定が必要とされ**、離れた場所においても全チームメンバー間で、そのすべてが効率良くスムーズに連携することが求められているのです。

### 共有テンプレートドキュメントからのカラー設定の適用

単位：秒、短いほど良い



### 主なポイント

- ▶ CC Libraries で設定やアセットを共有することにより、生産性を飛躍的に向上させることができます。
- ▶ 共有のカラーテーマの適用に要する時間は、従来のワークフローの2分に対し、**CC Libraries では2秒**でした。
- ▶ グループで作業をする場合、小さな生産性の向上が積み重なり、大きな成果につながります。ワークグループのベンチマークテストでは、**CC Libraries を使用すると3分余り**、使用しない場合は20分近くを要しました。
- ▶ 生産性の向上にとどまらず、CC Libraries は、制作ワークフローの仕組みを効率化および高度化するための土台を築きます。

カラー設定の適用は、CC Libraries を用いることで、特に大きな成果が挙げられます。従来のワークフローと異なり、CC Libraries ではスウォッチライブラリやテンプレートドキュメントを書き出して共有する必要がないからです。

当社のベンチマークテストでは、サーバー上にあるテンプレートドキュメントを見つけ、カラースウォッチを読み込む作業に、ゆうに20分以上を要しました。実際にはもっと時間がかかるでしょう。

一方 CC Libraries を使用すると、Dreamweaver ユーザーは、スウォッチにアクセスできるだけでなく、カラーの HEX 値をコピーできます。これは、通常のスウォッチでは複雑になりがちな作業です。

つまり実質的に、共有アセットやスタイルガイド、テンプレートドキュメント、設定ファイルが保存されているサーバーをベースとするワークフローに依存することがほとんどです。しかし、ここには問題があります。変更が発生するたびに、全チームメンバーに変更を知らせ、各メンバーは使用するアセットや設定を更新する必要があります。簡単な例を1つ挙げると、プロジェクトで使用されるカラースウォッチの1つにクリエイティブディレクターが変更を加えると、そのたびに新しいカラー値（手の込んだものにするには、Web、印刷、デジタルイメージング用に様々なカラー定義を使用します）をチームと共有する必要があります。つまり、スウォッチライブラリを書き出してサーバーに保存するか、会社のネットワークにアクセスできないチームメンバーがいる場合は他の方法で共有するという事です。また、各プロジェクトには、共有して継続的に更新すべきアセットや設定、仕様が多数あります。これは、クリエイティブワークフローにおける重大なボトルネックの1つです。（当社のベンチマークテストと同じように）極めて楽観的に考えたとしても、アセットや設定のいずれかに変更があるたびに、生産性が段々と低下することになります。客観的にとらえるために、カラー設定、グラフィック式、画像アセット1点の共有および更新1回の作業について、生産性ベンチマークテストを行ったところ（次ページのサイドバーを参照）、通常のワークフローの手順では20分近くかかったのに対し、**CC Libraries**を使用すると3分余りでした。

## 主な生産性の向上：CC Libraries でアセットとスタイルを使用する場合（詳細）

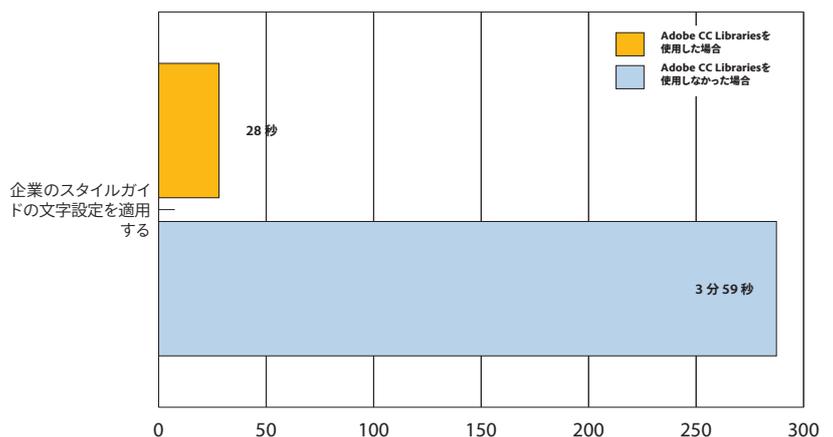
▶ **スタイルに関する問題**：企業のスタイルガイドは、整合性のあるコーポレートコミュニケーションを支える存在ですが、デザインの内容に応じて適切な設定を見つけるには、多大な時間を要する場合があります。

当社のベンチマークテストでは、スタイルガイドを探してダウンロードし、その中から特定の文字設定を見つけてコピーしたうえで、InDesign でそれを適用するのに、**数分かかりました**。

それに対して、適切なライブラリを選択して正しいスタイルシートを使用するという作業は、**30秒以内で行えました**。

企業のスタイルガイドからの文字設定の適用

単位：秒、短いほど良い

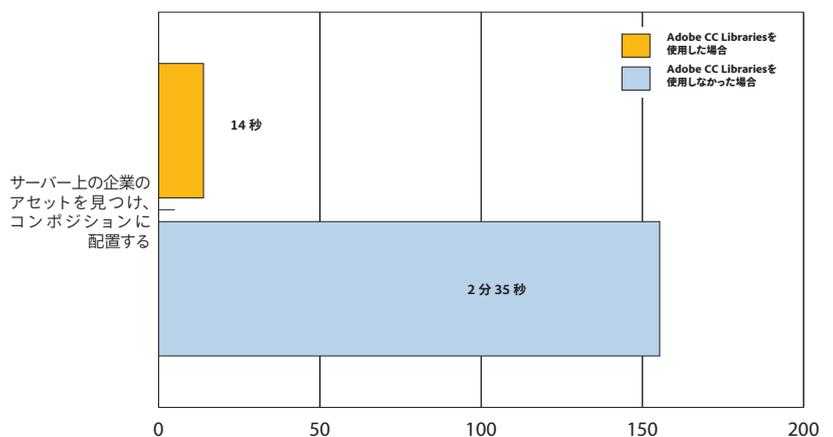


▶ **目的のアセットを見つける**：当社のベンチマークテストでは、フォルダーを次々とクリックして、適切な企業アセットを見つけ出し、カラースペースと解像度を確認して、アセットをプロジェクトに配置するのに要する時間を比較しました。最もうまくいったとしても、これらの作業には最低**2～3分**はかかりました。

一方、CC Libraries の場合、アプリケーションのパネルから企業アセットに直接アクセスできるので、**所要時間が数秒に短縮されます**。

企業のアセットの検索と配置

単位：秒、短いほど良い



## CC Libraries：制作ワークフローを効率化

CC Libraries がこの面倒なプロセスを効率化する方法は、シンプルかつ効率的です。アプリケーションのライブラリパネルにあるアイコンをクリックするだけで、チームメンバーはグラフィック、イラストレーション、画像のほか、スタイルシートやカラー設定を共有できます。共有の要素はすべてクラウドに保存されるので、同じコンピューターの別のアプリケーションはもちろん、同じ **Creative Cloud** アカウントにログインしている別のコンピューターでも、それどころかライブラリを共有する **Creative Cloud** ユーザーなら誰でもすぐに使用することができます。先ほどのカラーウォッチの例の場合、クリエイティブディレクターがウォッチを更新するやいなや、同じライブラリを共有するすべてのユーザーが新しいカラー値を使用できます。つまり、グラフィックデザイナーはアセットやグラフィックを共有しながら作業を進めることができ、しかもそれらは編集すると同時に自動的に更新されるということです。チームメンバーが同じ部屋にいても別の国にいても関係ありません。

今回の調査のベンチマークテストでは、CC Libraries の使用によって、特にチーム作業において、生産性とワークフローの効率が大幅に向上することが明確に示されています。しかし、アドビのテクノロジーは、こうした効率の向上にとどまらず、今後次第に制作ワークフローの仕組みを高度化し、クリエイティブチームの共同作業方法を一変させることでしょう。

## 主な生産性の数値：CC Libraries はワークグループの生産性をどれだけ高めることができるか

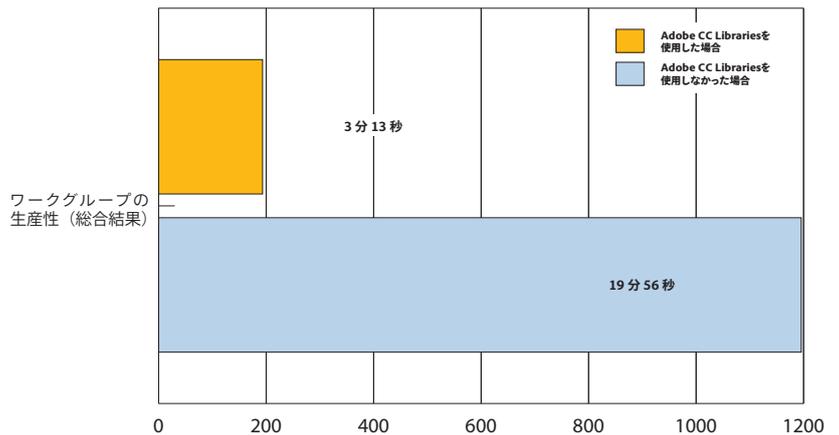
▶ **時間節約の積み重ね**：ベンチマークテストの最終項目として、当社では非常にシンプルなワークグループの生産性シナリオを設定しました。**5人のチームが3種類のアセットと設定を共有し、それらにアクセスして更新する必要があるという状況です。**使用する要素として、プロジェクト用のカラーテーマ、Illustrator で作成された4つの小さなアイコン、Photoshop で作成された1つの画像アセットを選択しました。

ベンチマークテストでは、これらの要素の共有、およびチームメンバーがこれらにアクセスしてドキュメントに配置するのに必要な時間を測定しました。また、編集後にこれらの要素すべてを一度だけ更新するのに要する時間も測定しました（従来のワークフローでは、画像とグラフィックはサーバー上に置かれ、リンクを再読み込みさせれば更新することができました）。

このベンチマークテストの結果は、個々の細かい時間節約を積み重ねることの成果を明確に示しています。従来のワークフローでは、**チームがこれらの簡単な作業を完了するのにトータルで20分近くかかりました。**

それに対して CC Libraries では、同じ結果を得るのに**3分余りしか要しませんでした**（右の表を参照）。より複雑なワークフローの場合、**CC Libraries** を使用すれば、**1週間で軽く数時間を節約**できることとなります。

ワークグループの生産性 (総合結果)  
単位:秒、短いほど良い



### ワークグループの生産性：

CC Libraries の使用により節約された時間 (5人のワークグループ)

各数値は3件のベンチマーク測定の平均

CC Libraries を使用しなかった場合の合計時間

CC Libraries を使用した場合の合計時間

タスク	CC Libraries を使用しなかった場合の合計時間 (秒)	CC Libraries を使用した場合の合計時間 (秒)
カラーテーマのプロジェクトサーバーでの共有 / CC Libraries での共有 (クリエイティブディレクター)	61,08	6,97
カラーテーマの読み込み (5人のユーザー)	208,45	
カラーテーマの更新 (5人のユーザー)	269,53	
4つのUIアイコンのプロジェクトサーバーでの共有 / CC Libraries での共有 (クリエイティブディレクター)	102,13	21,76
4つのアイコンの読み込みと更新 (5人のユーザー)	345,28	127,25
画像アセットのプロジェクトサーバーでの共有 / CC Libraries での共有 (クリエイティブディレクター)	38,15	3,62
画像アセットの読み込みと更新 (5人のユーザー)	171,06	33,75
<b>合計</b>	<b>1195,67</b>	<b>193,35</b>

単位：秒、短いほど良い

ワークグループの生産性、総合結果 (分/秒)	19:55,7	03:13,4

## 調査方法

このベンチマークプロジェクトは、アドビから委託を受けて、**Pfeiffer Consulting** が独自に実施しました。

このレポートに示す生産性の測定値は、実際のワークフロー事例に基づき、対象プログラムとワークフローについての長い経験を持つ熟練者が設計し、実行したものです。

### ▶ ベンチマークの設計手法

基本的な考え方は簡単です。あるプログラムまたはソリューションがもたらす（またはもたらさない）生産性の向上を評価するために、まず、比較の対象となる各アプリケーションにおいて、ある結果を実現するのに最低限必要な手順の数を分析します。

この操作手順が明確になったら、現場で対象のソリューションに長年携わっている経験豊富な担当者の手を借り、各ソリューションの操作またはワークフローを実行します。

すべての操作手順を3回実行し、測定した3回の平均値を使用します。

### ▶ Pfeiffer Consulting について

Pfeiffer Consulting は独立系技術研究機関です。パブリッシング、デジタルコンテンツ制作、ニューメディアプロフェッショナルのニーズに特化して、ベンチマーク評価を実施しています。

詳しくは、下記にお問い合わせください。

**research@pfeifferreport.com**



All texts and illustrations © Pfeiffer Consulting 2016. Reproduction prohibited without previous written approval.

詳しくは、research@pfeifferreport.com までお問い合わせください。

このレポートに掲載されているのは、情報提供のみを目的とした評価データおよび一般的シミュレーションのデータです。この情報は、既存の会社またはワークフローの状況について、特定の生産性の調査や算定を提供するためのものでも、またそれに代わるものでもありません。Pfeiffer Consulting は、このレポートに掲載されている情報、助言、提言の使用についても、これに基づいて行われる行動についても、一切の責任を拒否するものであり、このレポートまたは関連文書で提供しているデータに基づく購入、装備、投資その他の判断および事業について責任を負うことはできません。

Adobe, the Adobe logo, After Effects, Creative Cloud, Dreamweaver, InDesign, Photoshop and Premiere Pro are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.